

# 消費電力4分の1

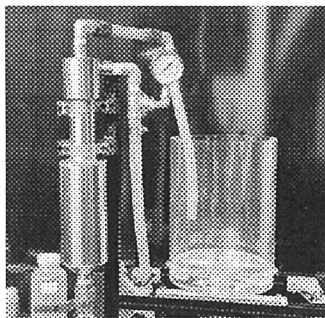
## インダストリア

### 濾材なしフィルター投入

【川越】industria（インダストリア、埼玉県入間市、高橋一彰社長）は、自社独自の遠心分離式フィルター「フィルスター」シリーズに、新型液体濾過フィルター「FILSTAR eco（フィルスターエコ）」を追加し、22日に発売する。省エネ性能を大幅に高め、より環境に優しい製品にした。価格は20万円（消費税抜き）から。初年度400台、2年目に800台の販売を目指す。

フィルスターは、流業などの水溶性汚体のゴミを捕捉する機ラントの循環濾過用と器で、濾過エレメントとして、切削機などにフィルターエレメントを設置してきた。水の流しがないのが特徴。ただで濾過するた主に自動車や工作機械、目詰まりの要因で

ある「濾材」が一切不要で、産業廃棄物ゼロを実現している。今回、数年ぶりのモデルチェンジとなる「フィルスターエコ」は、ユーザーからのニーズもあり、大幅な省エネ性能の向上に挑戦。根本的な構造の見直しで、サイクロン式フィルターの大きさや長さの調整を図った。



独自の液体制御技術を駆使し、ポンプの消費電力を最小に抑える

その結果、液体濾過にし、フィルスターエコは、0.25μmの消費電力で稼働を可能にした。従来フィルスターの場合1μmの消費電力が1μmの消費電力に比べて約4分の1に削減でき、最大以上の製品も対応できる。

### ポンプ台数・CO2も削減

同時に省エネ運転モードで対応可能により、二酸化炭素（CO2）の排出量も60%以上の大流量（CO2）の排出量もモデルも2025年内に開発する予定。納入比例して4分の1の削減となる。また、10%先は、これまでの工作機械、自動車業界に加えて、食品・化学プラント・半導体向けなど、水を多く使う業界への新規参入も視野に入れている。

濾過速度が1分当たり最小で20μm対応品から、最大で60μm対応品まで6種類用意し、価格が20〜25万円（消費税抜き）となる。今後、1μm以下、0.1μm以下、より細かい微粒子に対応できるように、濾過精度を高めていきたい」と話す。

同社の担当者は「フィルスターエコは当社のコア製品群の中で、久しぶりの新開発製品となる。今後、1μm以下、0.1μm以下、より細かい微粒子に対応できるように、濾過精度を高めていきたい」と話す。